

令和5年度 第2回学校運営協議会 記録

2023.11.28 18:00 開会

参会者 高橋敏夫氏 古川啓治氏 鈴木泉氏 高橋孝氏 伊藤浩一郎氏 高橋亮氏 高橋達哉氏
伊藤芳枝氏 高橋戒舟氏（地域学校協働活動統括コーディネーター）
長岡賢太氏（飯豊町社会教育課主事）
高橋浩校長 武田俊英教頭 井上勝見地域学校協働活動推進員

※出席人数の確認

1 開 会（鈴木泉 副会長）

2 挨 拶

◇高橋会長

- ・ 創立 150 周年記念事業については、多大なご協力をいただきながら無事終了することができたこと、感謝申し上げたい。今日は閉校に関する内容が協議題となっている。忌憚のないご意見をお聞かせいただきたい。

◇高橋校長

- ・ できるだけ短時間で終えたいと思うが、今年度は「外部評価」ということで委員の皆さんから評価していただくことを考えている。その意味もあり、教育活動についての説明は丁寧に説明させていただきたいと考えている。ご了承いただきたい。

3 説 明

(1) これまでの教育活動について（高橋校長）

※プレゼンと資料により説明

(2) 地域学校協働活動の活動状況について（井上地域学校協働活動推進員）

※資料に基づいて説明

(3) 学校評価について（武田教頭）

※資料に基づいて説明

◇質疑・応答

Q 手ノ子小学校は少人数なので学習面では充実していると思われるが、本校の子どもたちが中学校に行ったときになかなかなじむことができずにいるケースがあると聞く。不登校になっているような子はどの程度いるのかわかる範囲で教えていただきたい。(古川啓治氏)

A 手ノ子小出身の子どもが中学校で不登校になる傾向が強いということはよく言われる。現段階で不登校の子はいないが、別室登校や遅れて登校する子はいようだ。

放課後活動を導入して今年度で2年目になるが、社会力を身に付けるという意味で、地域の方の力をお借りしながらできるだけ社会に開かれた教育課程を創ろうとしているところである。(高橋校長)

4 協議 議長 高橋敏夫会長

(1) 閉校記念式典並びに閉校記念事業の実施について

◇高橋校長より(議題提案)

- ・ 資料9頁の1-(3)の①「閉校式典の実施希望日と来賓」の項目について、具体的には11頁の

1 閉校式典の実施希望日についてご意見をお伺いしたい。

12月18日(月)150周年の準備(総務)委員会で閉校に向けた取り組みについても話し合う予定でいるので、資料9頁の1-(3)の②③についてはその時に相談していきたいと考えている。

これまで開校準備委員会の中でも

- ① 閉校なので学校を閉じる3月にやるのがふさわしいのではないか。
- ② 5つの学校が同じ時期(3月)に閉校式を行うというのであれば、来賓等が重なってしまっ
て、日程調整が難しいのではないか。
- ③ 春休み中の実施となると、子どももそうだが、職員の異動の時期と重なったりして余裕が
ないのではないか。

等の意見が出ている。参考にして協議をお願いしたい。

イメージとして、今年度の150周年記念式典・記念事業・祝賀会を同日開催したことも参考にしながらご意見をいただけるとありがたい。

◇協議

- ・ 他の学校との兼ね合いもあることを考えると3月実施の大変さも出てくる。雪が降る前の
11月あたりに行うのがいいのではないか。(古川啓治氏)
- ・ 個人的には3月にすべきではないかと思う。ひとつの区切りであり、学校が終わるという一
大事業なのでそれに向けて事前の準備をしっかりとっておけば、3月開催というのも十分可能だ
と思うし、あまりにも早く11月にやっておいて3月を迎えるというのは現実的な話ではない

なと思う。気持ちの流れとして学校が終わるということに集中していくべきだと思うので、3月の卒業式直後あたりがいいと思う。(伊藤浩一郎氏)

- ・ 3月実施希望が多くなった場合の調整はどのように進められていくのだろうか。

(議長;高橋会長)

- ・ 3月に町長・議長・教育長がそれぞれの学校に出向いて式典を行うことは厳しいと思われる。案として、あ〜すに5校同時に集まって行う方法もあるのではないかという考えも出ている。3月の卒業式後に来賓を招いての式典となるとなかなか難しい。学校独自の記念事業はできると思うが…。(高橋校長)

- ・ 学校を閉じるということは大事なことである。それだけに教育活動に一区切りついた時期、3月にすべきだという考えは当然のことだと思う。子どもたちの教育活動を来年度検討していく。大きな行事の時期が決まってくないと検討を進められない。時期が迫ってからではなく、7年度からそれぞれの学校でできることをやり、その中で出てきた課題をクリアしながら8年度はよりスムーズにやれるようするためという意味でも閉校式典の時期を早めに決めておきたい。

式典に多くの方に来ていただけるようにと考えると土・日の実施になるだろう。そうなると日程調整が難しい。平日開催となると来ていただきたい方に集まってもらえなくなるという課題も出てくる。

手ノ子小の場合、全教職員・全員の子どもが引越しになる。教員の異動は3月20日頃の内示までわからない。子ども1人1人の引継ぎのための情報交換を義務教育学校に行く教職員の中で深めておくというのもこの10日間である。

今年4月開校の遊佐小学校は5つの小学校が1つにまとまったのだが、閉校式典は前年の10・11月に行っている。先日新聞に載っていた鶴岡の高校も、閉校式典は10・11月に行っていた。西中学校が閉校のときは文化祭の日に記念行事的なもの(石碑の除幕式・先輩の講演会)を行ったとのことである。1校の閉校の場合と違って5つの学校が関わってくる難しさがあると思う。(高橋コーディネーター)

- ・ 手ノ子小学校が無くなるという意味での記念式典で、卒業生にも知らせてやるとするなら閉校の年のギリギリ3月でなくてもいいのではないか。中津川の閉校のときも卒業生と連絡を取りながら協力金等募集しながら行ったという経緯がある。(鈴木泉氏)
- ・ 中津川小中学校の閉校式は2013年の3月23日、3月の第3土曜日にしている。その前の週に卒業式が行われている。(高橋達哉氏)

- ・ 祝賀会をまとめて町全体で行うとすると参加数が少なくなる。式典に関しては、卒業式が3月18日一斉だろうから、全体で行うとすると時期をずらした方がいいと思う。(古川啓治氏)
- ・ すべて一緒に考えるから大変になってくるのではないか。学校の「思い出を語る会」のような閉校関連行事は前倒しでいいと思うが、本当に学校が終わるんだという式典については5校まとめてあ〜すでもいいと思うし、学校が終わるんだというけじめのようなものが何かないと終わり方もすっきりしないような気がする。各学校で閉校関連行事は前倒ししていいと思うが、終わりは3月でいいのではないかと思う。(伊藤浩一郎氏)
- ・ 式典は5校一緒になるので3月に行うことにして、閉校関連行事については単独で行うということでいいだろうか。(議長；高橋会長)
- ・ 町民総合センターの多目的ホールは前の席をすべて使ったとしても537人しか入れない。町内の児童生徒は全部で500人くらいだったと思う、そこに先生方とか来賓が入るとなると、2階席まですべて使ってやっと入れるくらいのキャパシティになると思うので、かなり手狭になるかなと思う。(長岡社会教育課主事)
- ・ 義務教育学校の開校備委員会に参加しているが、各部会に分かれて詳細な打ち合わせが進められている。11ページの別紙で報告するということだが、例えば4小1中合同で閉校式を行うという場合、この別紙があることがそもそもおかしくなると思う。開校準備委員会の部会の方で取りまとめていただく方がいいのかなと思う。例えば手ノ子では単独でしたい、添川でみんなでしょうということになった場合、意見がまとまらなくなると思う。(高橋達哉氏)
- ・ 今のPTA会長の話だと各学校の意見を聞いた上で、開校準備委員会の方でまとめてもらった方がいいのかなと思う。そのための町全体の準備委員会なのかなと思う。(古川啓治氏)
- ・ 式典の方は町がやる、記念事業については各学校でやってくださいというスタンスなので、式典について最終的な決定をするのは町になると思う。意見を求められてはいるが決定は町ですることになると思う。町の意向に沿うような意見として、3月にやりたいから合同でやりましょうという意見を出せば3月で通ると思うのだが、うちだけ3月にやるという意見だとまとまらなくなると思う。でも、先ほどもあつキャパシティがあるので、例えば小学校と中学校は午前と午後に分けてやりましょうなどということになれば3月実施も可能になるかもしれない。

出席者については、かなり忙しい日程なので代表の教職員と関係者、子どもはどうするのか

というのも含めて検討が必要になるだろう。3月にやりたければ可能な範囲でできるような案を出す必要があるだろうと思う。(高橋校長)

- ・ 手ノ子小学校の案だけを通すというわけにはいかないと思うので、準備委員会の話し合いの方向性を見極めてから各学校の持ち方を決めてもいいのかなと思う。(古川啓治氏)

- ・ 開校準備委員会で閉校の話を進めるのも難しいのではないかなと思うのだが…。

(議長；高橋会長)

- ・ 今日1つにまとまらなくてもいいのではないかなと思う。手ノ子小学校の学校運営協議としては、「閉校式典は3月に合同で行う。語る会は別に考える。」という案と、「10・11月頃に語る会と同じような形で行う。」という案の2案が出たということでもいいのではないかな。

(高橋統括コーディネーター)

- ・ 現実的に3月末になってきたら火の車のような状況になって見動きが取れないというのは明らかなこと。だからと言って閉校式とか語る会をしなくてもいいのかなというところではない。地域として学校を守ってきた手ノ子・高峰の地域の人はどう考えるかなのだろう。もしできなかったとなった場合、ものすごく悔しい思いをするだろう。

もしこの状態が中津川で、閉校式をするかしないかでもめたりしたとしたら、「何を言っているんだ、地域として今まで守ってきて何を言ってるんだ。最後くらいきちんとやれよ。」というのが地域の考え方となるだろう。地域の思いと卒業生の思いを出し合って、記念式典は町が合同でやるとしたらきちんとやってもらうということ。地域では子どもがいない人たちもみんな盛り上げて学校をつくってきてくれているわけだから、それに応えるということも大切なことだと思う。(高橋亮氏)

- ・ キャパシティを考えると学校関係者と子どもだけで終わってしまい、地域関係者が参加できないとなると、式典も片手落ちになってしまうのではないかなと思うのだが…。やり方もいろいろとあろうかと思うが。(議長；高橋会長)

- ・ 式典は間違いなくやる。どういうやり方をしたらいいか、時期的にいつやるかという意見をいただきたい。(高橋統括コーディネーター)

- ・ 閉校記念式典は8年3月に行う。来賓等については町に任せる。記念事業も実施する。その主催者は手ノ子小関係者になるということで、時期は11月あたりといった方向でまとめるかどうか。(鈴木泉氏)

- ・ 式典については3月実施で、やり方については町に任せる。記念事業については11月頃に実施する方向で、その主催者等については12月18日に話し合う場もあるのでそこで検討するという事で、いいですか。(議長；高橋会長)

- ・ 閉校式を3月にまとめて行うということが出てきたことのイメージは、子どもにとって今までの学校が最後だよという意味合いで行うという解釈をしたのだが…。そういう意味で閉校の場を合同でもいいから3月に設けてほしいということ。大人(地域・卒業生)が関わる記念事業は11月頃に行うということでもいいのではないかと。(井上地域学校協働活動推進員)

- ・ 子どもたちにこれで最後だよという場を設けてもらえばそれで十分だと思う。思い出を語る会等の記念事業は手ノ子小学校単独で盛り上がるようなイベントをやるべきだろう。

(伊藤浩一郎氏)

- ・ 3月の式典は、子ども・教職員・来賓が参加者ということですね。

(高橋統括コーディネーター)

(2) 義務教育学校における学校運営協議会のあり方について

◇高橋戒舟地域学校協働活動統括コーディネーターより(議題提案)

- ・ 義務教育学校を地域から遠い存在にしないという大命題がある。義務教育学校(当面は3つの学舎をもつ分離型でスタート)においても学校運営協議会という組織が設けられるわけだが、地域の声を反映させるためにどういう形で学校運営協議会の組織があればいいのかご意見をいただきたい。義務教育学校に1つの組織だけでいいか、或いは学舎ごとに別組織(下部組織)を設けて地域の声を反映させていくべきか等様々な設置方法が考えられる。
- ・ 時間も大分経過しているので、この議題については第3回学校運営協議会で協議させていただくことにする。それまで皆さん考えをまとめておいていただきたい。(議長；高橋会長)

(3) その他

(提案は特になし)

5 その他

- ・ 第3回学校運営協議会の日時確認。

6 閉 会（鈴木泉副会長）